

埼玉医科大学保健医療学部看護学科「埼玉医科大学看護学科紀要」

投 稿 規 定

1. 原稿の種類

本誌は以下の論文および原稿を掲載する。ただし、未発表のものに限る。

- 1) 依頼原稿 : 紀要委員会が執筆を依頼するもの
- 2) 原著 : 独創性を持ち、看護学の発展に資するもの
- 3) 総説 : 特定のテーマに関する研究状況を概観し、展望を示したもの
- 4) 報告 : 原著に順じ、独自性のあるもの
- 5) 資料 : 未整理ながら将来的に研究上の資料的価値が認められるもの
- 6) 短報 : 速報性があり、部分的に限られた研究報告や学会報告など

2. 原稿の言語

原稿の言語は、日本語あるいは英語とする。

3. 書式および原稿の字数

原稿ファイルは本文（文献を含む）、図表に分ける。

原稿は、MS-Word を使用し、A4 版横書きで 1 行 36 字 1 頁 40 行とする。

文中の句読点は、全角「。」、「,」を用い、「()」は半角とする。

字数は、原則として日本語の場合は本文 16,000 字以内とする。英語の場合は 10,000 語程度とする。いずれも刷り上がり 10 ページ以内とする。ただし、短報は 5 ページ (8,000 字) 以内とする。

この中には、図表および資料を含む（題目、要旨、附録は含めない）。

超過するものは、原則として受理しないものとする。

なお、図表の目安は下記の通りである。

刷り上がり 1 ページ：1,600 文字相当	刷り上がり 1/2 ページ：800 文字相当
刷り上がり 1/4 ページ：400 文字相当	刷り上がり 1/6 ページ：260 文字相当

4. 原稿の構成と表記方法

執筆に際しては、以下の項目を記載すること

- 1) 題目（英文タイトルも併せて表記すること）
- 2) 著者名（ローマ字表記、所属と専門分野、連絡先も記載すること）
- 3) 要旨（邦文 400 字程度。原著の場合は 250 語程度の英文サマリーも付すこと）
英文サマリーは、native speaker の校閲を受ける。
- 4) キーワード（3～5 語とする。英文表記も記載する。キーワードごとに半角「,」で区切る。）
- 5) 本文（表記は 10.5 ポイント MS 明朝体）
- 6) 文献

章立てについて

- 1) 番号を付する I, II, …, 1, 2, …, 1), 2), …, (1), (2), …とする。
- 2) 章立て 各専門分野の記述方法に従って、「はじめに」「研究方法」…、「研究目的」「研究方法」…、「問題と目的」「研究方法」…などと記述する。
「謝辞」と「文献」は、番号をつけず中央揃えとする。

5. 図表および資料の扱い

図表および資料等は下記の通りに作成する。

- 1) 図表は、図 1・表 1 のように表し、希望する挿入箇所を原稿の右欄外に指定する。

- 2) 資料は、資料 1 のように表し、希望する挿入箇所を原稿の右欄外に指定する。
- 3) 図表および資料については、希望の刷り上がり時の大きさ（倍率）を明記する。
- 4) 表については、標準的なフォント（M S 明朝，MS ゴシックなど）を用いた MS-Excel での作成を推奨する。
- 5) 表タイトルは表上部に、図タイトルは図下部に記載する。

6. 文献の表記

- 1) 文中での引用文献の記述は、括弧内に筆頭著者名，発行年を記す。同じ筆頭著者名でかつ同じ発行年の文献が複数ある場合は，文中に掲載されている順に，アルファベットの小文字を発行年数の後に付記する（文末の文献記載においても同様）。
- 2) 文末の文献記載は，著者名をアルファベット順に記す。記載方法は下記の例示のようにする。

【雑誌掲載論文】

著者名（発行年）：論文題名，雑誌名，巻（号），ページ．の順に記述する。

例) 佐々木真紀子，針生享（2006）：看護師のアイデンティティ尺度（PISN）の開発，
日本看護科学会誌，26（1），34 - 41.

Weiss M.J.（2002）：Hardiness and social support as predictors of typical children with autism, and children with mental retardation, Autism, 6, 115 - 130.

【単行本】

著者名（発行年）：書名（版数），発行社，発行地．の順に記述する。

例) 小此木敬吾（2000）：対象喪失 悲しむということ（第 2 版），中央公論新社，東京．

【分担執筆】

著者名（発行年）：分担執筆部分の表題，編集者名，書名（版数），発行社，発行地，分担部分のページ．の順に記述する。

例) 野本照三，関口光夫，金井正光（1998）：非蛋白窒素化合物，金井正光編著，臨床検査法概要（第 31 版），
金原出版，東京，502 - 503.

【翻訳書】

原著者名（原書の発行年次）／訳者名（翻訳の発行年次）：翻訳書の書名（版数），発行社名，発行地．の順に記述する。

例) Friedman M.M.（1986）／野嶋佐由美（1993）：家族看護学 理論とアセスメント（第 1 版），へるす出版，
東京．

- 3) 文末の文献の著者名は，3 名までは全員を記載し，4 名以上の場合は最初の 3 名を記載し，以下「，他〇名」（日本語文献の場合），「, et al.」（外国語文献の場合）とする。

- 4) インターネット上の文献の場合は，下記の例示に従う。

著者名（記述された年）：題名，URL 参照年月日．

例) 日本社会学会（2006）：日本社会学会倫理要綱にもとづく研究指針，<http://www.gakkai.ne.jp/jss/about/shishi.pdf>, 2012.6.11.

7. 倫理的配慮の記載

特定の個人の情報を研究に用いる場合には，人権の擁護やプライバシーの保護に留意し，研究対象者に研究内容や手順を適切に説明した上で，研究結果の公表について本人から同意を得ること。また，倫理的配慮がなされた旨を原稿中に明記すること。

8. 原稿の提出

原稿の提出は，毎年 9 月末日とする。期日に間に合わないものは，原則として次号への投稿の扱いとする。

9. 投稿手続き

- 1) 8 月末日までに，投稿申し込みを行なう。
- 2) 9 月末日までに，原稿を 4 部，紀要・研究推進委員会委員長あてに提出する。
- 3) 原稿は直接渡すか，郵送する。郵送の際は，簡易書留とし，締め切り日までに編集委員会に必着とする。

10. 原稿の提出部数

原稿は4部(著者名を記載したものを1部, 著者名を記載していないものを3部)提出すること。なお採用決定後に、原稿ファイルも提出する。

11. 著者校正

原則として2校までとする。なお、校正時の大幅な追加・修正は原則として認めない。

12. 執筆者が負担すべき費用

別刷は著者の負担とする。

附則 本規定は、2006年11月8日より実施する。

(2011年5月12日改正)

(2016年5月19日改正)

(2017年4月6日改正)

(2018年6月7日改正)